

JBICの 支援を通じた 感染症対策の取組み

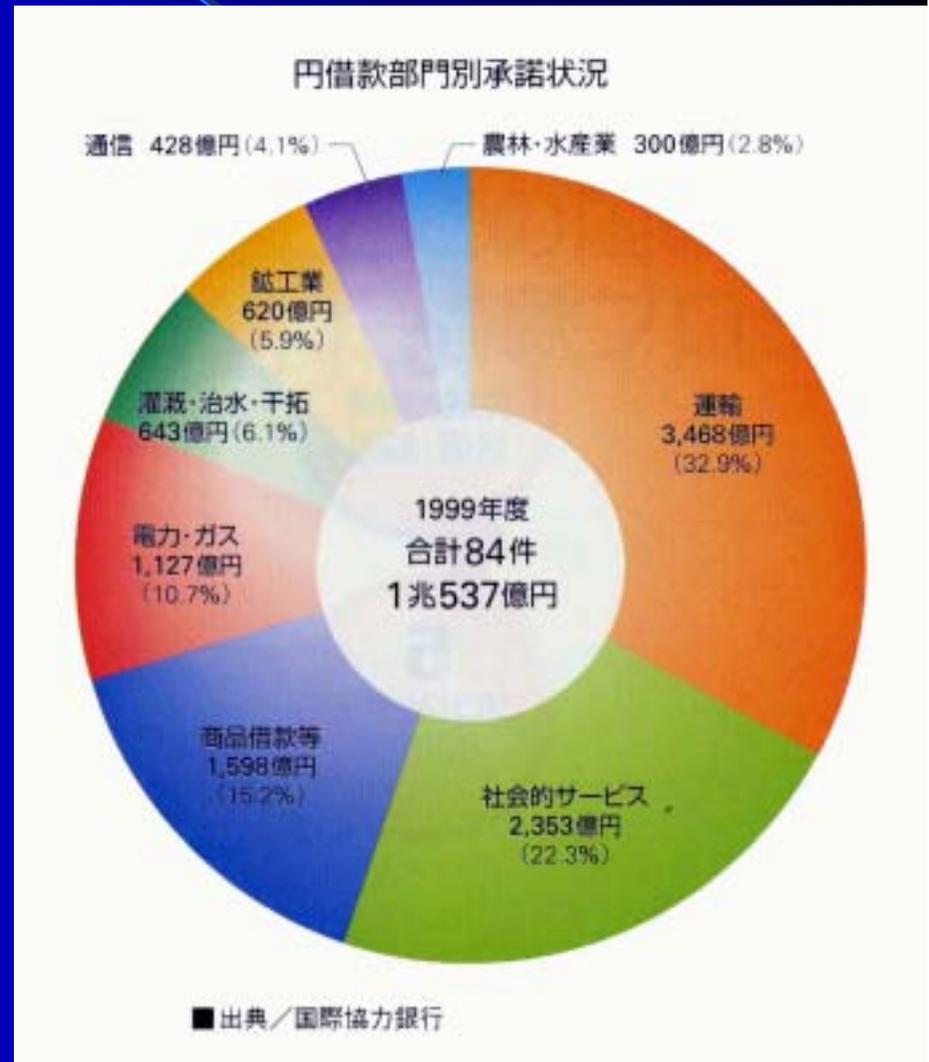
国際協力銀行
プロジェクト開発部次長
松澤猛男

目次

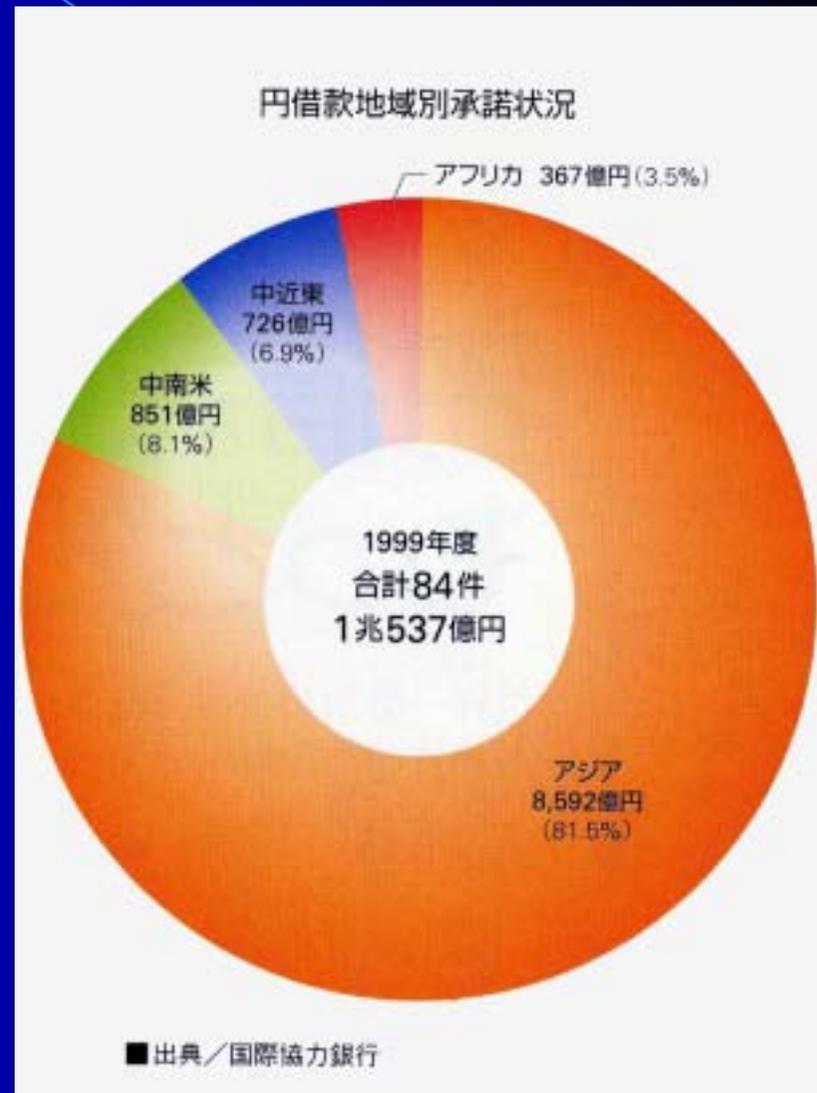
1. JBICによる途上国支援
2. 感染症対策の取組み方針
3. 取組みの具体例
4. 今後の方向性

1. JBICによる途上国支援

- 円借款支援の特徴
 - – 社会経済インフラ整備中心
 - – 大規模計画にも対応



- 支援対象地域の分布
 - アジア中心（承諾額の約8割）



2. 感染症対策の取組み方針

- 「海外経済協力業務実施方針」
 - 「地球規模問題への対策」の一環として
- 円借款の特徴を活かした支援
 - インフラ整備支援における感染症対策のあり方

3.取組みの具体例

- HIV /エイズ対策支援
 - カンボジア
「シアヌークビル港緊急リハビリ事業」
 - タイ/ラオス「第二メコン橋建設事業」

シアヌークビル市の一般
市民を対象とした教育
イベントの様子 →



● HIV /エイズ対策支援

☆カンボジア「シアヌークビル港緊急リハビリ事業」

事業実施に際し、多数の港湾労働者が新たに流入することによって、HIV/エイズ蔓延が懸念された。

→工事現場において応急処置・STIクリニックでのサービスを提供（初期段階のSTI治療、クリニックの紹介などのサービスを提供）。

→安全教育などでのHIV/エイズの定期的啓蒙教育活動。

☆タイ/ラオス「第二メコン橋建設事業」

出稼ぎや性交渉を目的とした国境間の移動の増加、建設労働者流入による娯楽産業の広まりからHIV/エイズ蔓延が懸念された。

→事業地域のHIV/エイズ調査をNGOに委託。

→調査結果をもとに土木工事労働者へのエイズ予防プログラムを策定し、現在、その内容については政府及びコントラクターと協議中。

- マラリア対策支援
– インド「レンガリ灌漑事業」
(今年度承諾予定)



● マラリア対策支援

☆インド「レンガリ灌漑事業」

灌漑施設を建設することにより水の確保が出来る一方、マラリア感染率の高い事業地域では、灌漑の水源がマラリアの発生源となり感染が増加することが懸念された。

→マラリア対策のコンポーネントを事業に導入。

例：顕微鏡供与によるマラリア検査の向上

マラリア関係の医療従事者及びボランティアの人材育成

蚊帳・魚の購入のための立上げ資金援助

住民への保健教育活動

灌漑用水路の土木工事によるマラリア対策

4. 今後の方向性

- 円借款事業における有効な取り組みの更なる模索と推進
 - 他機関、相手国との連携
 - 評価活動も含めた調査・企画の充実